

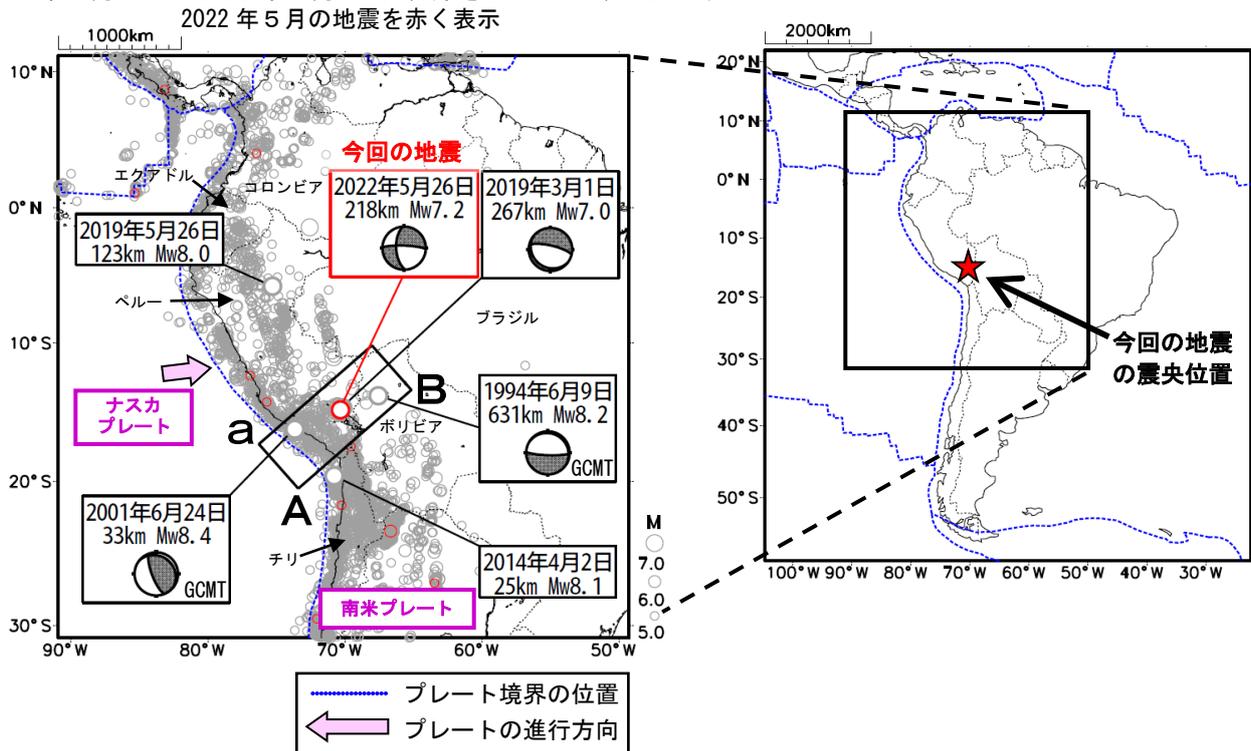
5月26日 ペルー中部の地震

2022年5月26日21時02分（日本時間、以下同じ）にペルー中部の深さ218kmでMw7.2の地震が発生した。この地震は、南米プレートに沈み込むナスカプレート内部で発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解、速報）は、ナスカプレートの沈み込む方向に張力軸を持つ型である。

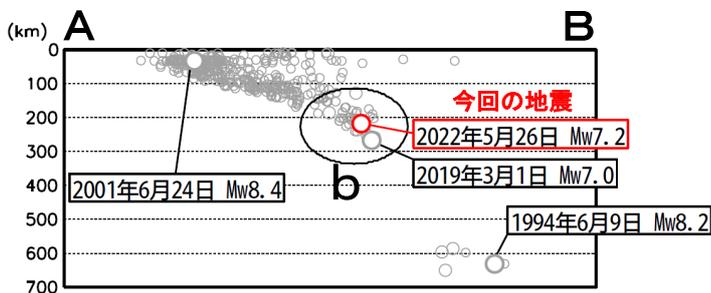
気象庁は、この地震に対して、同日21時36分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

1970年以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M6.0以上の地震が時々発生しており、M7.0以上の地震は今回の地震を含め2回発生している。また、今回の地震の震央付近（領域a）では、2001年6月24日にMw8.4の地震が発生し、死者139人等の被害が生じた。また、近隣のボリビアでは、1994年6月9日に深さ631kmでMw8.2の地震が発生し、死者10人の被害が生じた。

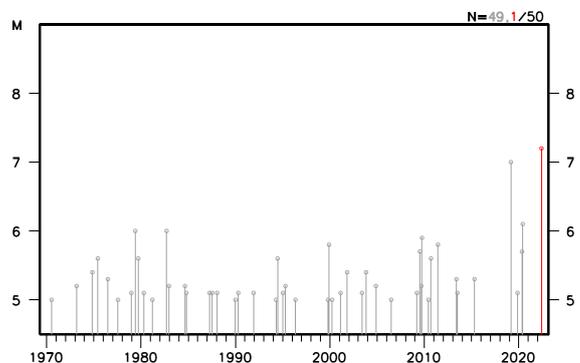
震央分布図
(1970年1月1日～2022年5月31日、深さ0～700km、M \geq 5.0)



領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図



※本資料中、今回の地震及び2019年3月1日の地震の発震機構とMwは気象庁による。その他の地震の発震機構とMwはGlobal CMTによる。また、1970年以降の地震の震源要素は米国地質調査所（USGS）による（2022年6月6日現在）。プレート境界の位置と進行方向はBird（2003）より引用。1994年6月9日の地震及び2001年6月24日の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.